

平成21年11月30日
水産庁

水産物の市況について（平成21年11月及び12月）

—東京都中央卸売市場における平成21年11月（平成21年10月21日～11月20日集計）の市況と、
平成21年12月の市況見通し（前月との比較）—

I 平成21年11月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量（水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計）は前月並みとなり、卸売価格（水産物全体の1キログラム当たり平均価格）はやや強含みに推移しました。

II 平成21年12月の主要品目の市況見通し

「まいわし（生鮮品）」

水温が低くなるにつれ水揚げが減少するため入荷量についても前月と比べ減少すると見込まれるものの、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。（全体的に漁獲は低調）

「さけ・ます（塩蔵品・冷凍品）」

入荷量は原料、製品とも需要期を迎えており前月と比べやや増加すると見込まれ、卸売価格はロシアものが減少していることもありベニサケは若干強めであるが全体的には横ばいに推移すると見込まれます。（岩手県の秋サケ漁は好漁が続いており単価安となっている。）

「さば（生鮮品）」

入荷量は前月と比べるとやや減少すると見込まれるものの、盛漁期を迎えている九州西方海域での魚体が小さいこともあり、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「するめいか（生鮮品・冷凍品）」

産地水揚げは各地で終漁模様となる海域も多く、入荷量は前月と比べるとやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。（サイズは日本海側、太平洋側ともに20尾主体。12-15尾と大きい物もある。）

「あじ（生鮮品）」

入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格も横ばいに推移すると見込まれます。（主漁場は山陰沿岸（境が主力）、九州西沖）

「まぐろ（冷凍品）」

入荷量は年末の需要期でもあり、前月と比べると赤身類、脂身類ともに増加すると見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

凡例（目安）

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み	横ばい
3～10	やや増加（減少）	やや強（弱）含み
11～20	増加（減少）	強（弱）含み
21～51	かなり増加（減少）	かなり強（弱）含み
51～	大幅に増加（減少）	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	11月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
21年	52	781	52	748	53	725
前年	56	806	56	774	56	784

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

注2:入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主要品目の価格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	11月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	630	81	85	114
さけ・ます(平均)	655	99	97	105
(ぎんざけ塩蔵品)	683	100	100	104
(あきさけ塩蔵品)	368	100	73	80
(ときさけ塩蔵品)	840	100	117	109
(べにざけ塩蔵品)	1,000	100	100	104
(さけ類冷凍品)	632	100	96	110
さば(生鮮品)	483	113	88	101
するめいか(平均)	385	99	104	95
(生鮮品)	394	99	103	94
(冷凍品)	330	100	110	95
あじ(生鮮品)	531	104	100	92
まぐろ(冷凍品)	1,466	104	101	110
(めばち冷凍品)	985	110	97	109
(きはだ冷凍品)	825	102	99	128
(くろまぐろ冷凍品)	3,691	98	94	122
(みなみまぐろ冷凍品)	1,749	92	80	80

注1:品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2:11月の価格は1~20日までの速報値。平年とは平成16年~20年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先:水産庁加工流通課企画調査班
 代表 03-3502-8111
 内線 6617 中谷、小林
 直通 03-3591-5612